

もみじ

Vol. 16



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号
TEL(082)254-1818(代) FAX(082)253-8274
ホームページ <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

(財)日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC175号一般病院



理念 県民の皆様にあされ信頼される病院をめざします

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実向上に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

■がん治療における新しい口腔管理システム

平成20年10月から、当院では広島県歯科医師会と協力して、がん患者様の口腔ケアを充実させる新しいシステムを作りました。がんの治療を開始する前の方や、すでに抗がん剤の治療を外来通院で行っている方に対して、所定の研修を受けた地域の協力歯科医院（広島市内に67箇所）を紹介し、専門的口腔ケア（歯石や歯垢の除去、ブラッシング指導、義歯の調整、抜歯など）を受けていただくシステムです。

<がん患者様が専門的口腔ケアを受けるメリット>

がんの治療前・治療開始後に専門的口腔ケアを受けるメリットには、以下のようなものがあります。

- ① 抗がん剤や放射線療法による口腔内の副作用（口内炎など）が重症化しにくい。
- ② 手術後の合併症（肺炎、傷の治癒不良など）が減少し、食事開始までの期間や、入院日数も短縮できる。（図1、図2、図3）。
- ③ 抗がん剤により体の抵抗力が低下した際に、口の中に生じやすい慢性炎症による悪化を防止できる。
- ④ 抜歯などの処置は、抗がん剤や放射線治療の影響で治療開始後には困難となる場合が多いが、治療前なら安全に行える。
- ⑤ 治療開始後も専門的口腔ケアを継続すれば、口腔内のトラブルを最小限にし、安定した経口摂取を確保しやすい。

化学療法による口内炎が重症になると、口から食事ができなくなるため、肉体的・精神的ダメージが大きいだけでなく、治療法の変更を余儀なくされる場合もあります。また、悪い歯を残してがんの治療を開始すると、免疫力低下のために重度の炎症を起こしたり、顎の骨が腐ったりする場合もあります。ぜひ治療前に専門的口腔ケアを受けて、がんの治療に臨みましょう。

協力歯科医院の名簿については、当院主治医や看護師にお尋ねください。



歯科・口腔外科部長
延原 浩

頭頸部がん再建手術の術後合併症発症率、経口摂取開始日、平均入院日数の比較

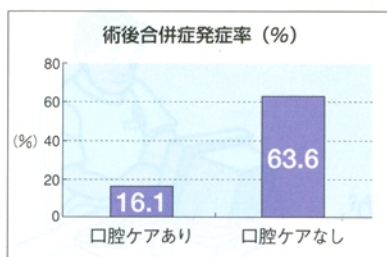


図1

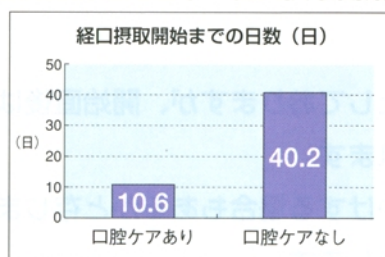


図2

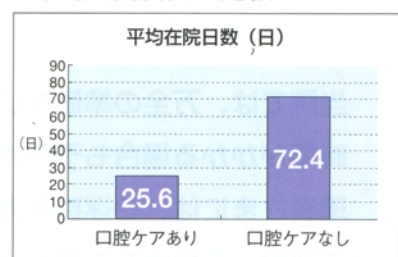


図3

図1：手術前に専門的口腔ケアを受けたグループは、術後の合併症(肺炎や傷の治癒不良)が約1/4に減少した。

図2：手術前に専門的口腔ケアを受けたグループは、食事開始までの日数が約1/4に短縮した。

図3：手術前に専門的口腔ケアを受けたグループは、平均入院日数が約1/3に短縮した。

太田洋二郎：がん治療による口腔合併症の実績調査及びその予防法に関する研究.厚生労働省がん研究報告集, 2003

● 栄養サポートチームについて ●

当院にはNST (Nutrition Support Teamの略) という栄養サポートチームがあります。医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士・管理栄養士などが連携して、患者様の栄養について検討するチームです。

栄養が不足している患者様のベッドサイドへチームで伺ったり、最もふさわしい食事や栄養剤、点滴の種類や量についてスタッフが専門の知識を生かして一緒に話し合い、少しでも患者様の治療の効果が上がるように栄養の管理をしています。

たとえば食欲のない患者様には、直接訪問し、患者様の嗜好を取り入れた食事を考えご提供させていただくことで食欲がアップしたなど患者様からも喜ばれています。NSTは、栄養の面から、治療の「縁の下の力もち」として活動しています。



当院では、平成21年1月1日から“電子カルテ”を開始します

電子カルテとは、医師が書く診療記録をはじめ、看護記録、リハビリ記録、医療画像（放射線写真・内視鏡等）、検査レポートなどの患者様の診療情報を電子的に記録し、保存・運用するシステムで、次のような利点があります。

■診療情報の共有

診療に関係する各スタッフが、患者様の最新の状態を院内どこからでも把握できるようになり、診療情報を共有することで、チーム医療の実践につながります。

■医療の質の標準化と向上

標準的な治療方針（クリニカルパス）をもとに、患者様に症状に合わせた治療方法を簡便に指示・実施できるシステムを取り入れ、医療の質の向上に役立ちます。

■医療安全への取り組み

入院患者様には“リストバンド”を使用していただき、確実な本人認証をシステム的にも行うことで、人為的エラーを防ぐことができます。

患者さまへのお願い

当院では、万全の準備をいたしておりますが、開始直後は、時間がかかる場合も予想されます。

患者さまには、ご迷惑をおかけする場合もあるかと存じますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



専門外来のご紹介

●アレルギー外来(皮膚疾患)●

皮膚科副部長 永田 敬二

皮膚疾患には、接触皮膚炎(かぶれ)、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、じんましんなど、多くのアレルギーが関与する場合があります。このアレルギー疾患における診断では、まず患者様から詳細に経過をお聞きし、発疹の状態を診察することが非常に重要です。それにより、アレルギーをきたす要因を絞り込み、各種検査を計画します。

アトピー性皮膚炎や食物アレルギーにおいては、血液検査や、実際に抗原を皮膚に注射をして、皮膚反応をみることもあります。また、接触皮膚炎などでは、パッチテスト(可能性のある物質を皮膚に貼り、2~3日後に紅斑が出るかどうかを判定すること)を行います。薬剤による発疹についての相談も多く、薬の使用歴や過去の報告例から原因薬を推定し、検査を行います。光線アレルギーが疑われる場合には、紫外線を照射して、紅斑が出現する最小の光線量を測定します。準備が必要な検査は、後日に予約を取り、行っております。

毎週月・木曜日 午後診察(再診から予約制)

●寄附・寄贈について●

県立広島病院の運営につきましては、多くの方々のご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。おかげをもちまして、次のとおりご芳情をお寄せいただいております。これもひとえに皆様方の格別なるご高配の賜物と存じ、改めて厚くお礼申し上げます。

ご芳情を賜りました皆様のご芳名を次のとおりご紹介させていただきます。寄附金及び寄贈品は、患者様のために有効に活用し、ご寄附の趣旨に沿いたいと存じます。今後とも、当院の運営に引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



社団法人広島南法人会様から、突然の雨の際、患者様が自由に使っていただけの置傘の寄附をいただきました。(平成20年9月)



社河内綾子様より「花の室」「ばら色の室」の絵画2点を寄附いただきました。(平成20年10月)

◆寄附金をいただいた方々(平成19年11月~)

ご芳名	寄附年月日
株式会社西井製作所 様	平成20年8月
山本 利郎 様	平成20年8月
岸田 良策 様	平成20年6月
日刊工業新聞社広島総局 様	平成20年6月
佐々木 富恵 様	平成20年3月

◆寄贈品をいただいた方々(平成19年11月~)

ご芳名	寄贈品	寄贈年月日
社河内 綾子 様	絵画	平成20年10月
広島南法人会 様	傘、傘立て	平成20年 9月
田口 和彦 様	書籍	平成20年 7月
松本 安芸 様	書籍	平成20年 7月
佐伯 計明 様	絵画	平成20年 7月
国際ソロプチミスト広島-中央 様	書籍	平成20年 6月
坂田 憲昭 様	パソコン	平成20年 5月
高岡 良昌 様	書籍	平成20年 4月
横村 秀太郎 様	鉢植植物	平成20年 3月
浜本 淳 様	書籍	平成20年 3月
徳本 孝治 様	書籍	平成20年 3月
加藤 紀子 様	書籍	平成20年 2月
広島東南ロータリークラブ 様	患者移動用マット	平成19年12月
わだ なつみ 様	書籍	平成19年12月
川上 友孝 様	車椅子	平成19年11月

なお、この他にも多くの方々からご寄附・ご寄贈いただいておりますが、公表を了承いただいた方のみ掲載させていただいております。

● 総合相談・がん相談窓口について ●

地域連携科 総合相談・がん相談室

総合相談窓口は、これまで新東棟2階に設置しておりましたが、皆様から「相談場所を分かりやすくしてほしい」とのご意見をいただき、平成20年4月から正面玄関横に移転し、新たにがん相談窓口も加えてリニューアルしました。

この相談窓口では、病気、診療に関することや、健康保険、介護保険に関することなど、あらゆるご相談を受け付けています。特にがんという病気にかかれば、今後の生活を考える上でたくさんの不安をお持ちになると思います。

そのようなときには、専門のスタッフがおりますので、どうぞお気軽にご利用ください。

ご相談例

- がんにはどのような治療がありますか。
- 医療費がどのくらいかかるのか心配。
- 「がん」と言われて心配。今からどうしたらよいか分からない。
- 「セカンド・オピニオン」について知りたい。 など

直通ダイヤル **がん相談** 082-256-3561 **総合相談** 082-256-3562

受付時間 / 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

お電話だけではなく、面談による相談も受け付けております。

面談は予約制になっておりますので、あらかじめ窓口やお電話でお申込みください。相談料金は必要ありません。相談された内容の秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

県立広島病院の入院・外来患者様に限らず、一般の方からのご相談もお受けしています。

意見箱

- Q 入院中の食事にカロリーが記入してあると嬉しいです。
- Q トイレに擬音装置(音姫)がないので、水がもったいなく感じます。
- A 1月から食札にカロリーを記載する予定です。
- A 今年度女子トイレに擬音装置を50余り設置しました。まだ未設置のトイレも残っており、今後順次設置していくよう検討中です。

紹介状持参のお願い

初診で来院される際には、「**紹介状**」をご持参いただけますようお願いいたします。

・当院では、お近くのかかりつけ医の先生と連携し、専門的な検査や入院治療を行い、皆様のお役に立ちたいと考えております。

「**紹介状**」は、かかりつけ医と当院とを連携するものです。

事前にかかりつけ医からFAXによって診療予約をすることができます。

・紹介患者専用の受付を設置しております。 **お問い合わせ**：地域連携科(病診連携担当) TEL(082)252-6241 FAX(082)252-6240

診療科案内

総合診療科	一般外科	小児感覚器科	歯科・口腔外科
消化器内科	胸部外科	小児科	リハビリテーション科
呼吸器内科・リウマチ科	整形外科	小児外科	放射線科
内視鏡科	脳神経外科	小児腎臓科	麻酔集中治療科
糖尿病・内分泌内科	皮膚科	産科	(ペインクリニック)
腎臓内科	泌尿器科	婦人科	緩和ケア科
循環器内科	眼科	新生児科	透析・移植外科
神経内科	耳鼻いんこう科	生殖医療科	救命集中治療科
精神神経科	頭頸部外科		臨床腫瘍科

受外来 受付時間 診療

午前8時30分～午前11時00分

※午後診療は診療科によって異なります。受付でおたずねください。

休日 診療日

土曜・日曜・祝祭日

年末年始 (12/29 ~ 1/3)



お願い：駐車場は午前中大変混み合います。できるだけ公共交通機関をご利用ください。